

誠実で公正な事業運営を徹底しています



当社は、情報セキュリティ対策として、

組織的・人的・物理的・技術的な側面からの対策を講じ、

**お客さまの個人情報や社内情報
などの情報管理の徹底**を図っています。

▼情報セキュリティ対策内容

区分	主な対策内容
組織的 対策	・適切な情報の取扱いを徹底するため、各職場での規定類の遵守状況の点検、研修の実施
人的 対策	・情報セキュリティ管理者対象の研修実施 ・新入社員対象の教育
物理的 対策	・ICカード対応のセキュリティゲート設置（支社） ・機械警備システムの導入（営業所）
技術的 対策	・特定の企業を狙ったサイバー攻撃等、インターネット上の脅威に備えたセキュリティ対策機能の強化 ・USBメモリ等のデータからのウイルス感染防止機能の強化



▲新入社員対象の情報セキュリティ研修

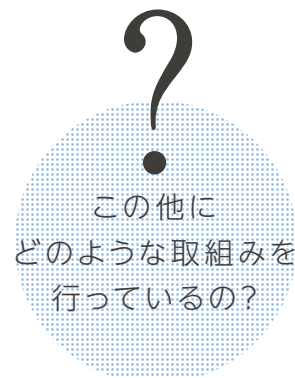
グループ各社に対しても、技術的な支援等を通じて、
グループ全体での情報セキュリティ確保に取り組んでいます。

■個人情報保護、マイナンバー制度への対応

個人情報保護については、「個人情報保護基本方針」をはじめとする社内規定を制定し、個人情報の適正管理を行っています。また、委託先等に対しても、個人情報を含む機密情報に関する安全管理契約を締結し、個人情報の適正管理を義務付けています。

さらに、2016年1月から開始されるマイナンバー制度*については、「番号法」などの要求事項を踏まえ、社内規定を見直すとともに、より厳格なセキュリティを確保するなどの確に対応していきます。

※当社は、電気のご契約に関して、お客さまにマイナンバーをお尋ねすることはありません。



詳しくは裏面へ

皆さまから信頼される企業であり続けるため、 従業員のコンプライアンス意識向上に取り組んでいます。

コンプライアンスに関する 教育や研修を実施しています

新入社員や新任管理職を対象とした階層別研修において、従業員のコンプライアンス意識の浸透・定着を目的とした教育を実施しています。また、各職場では、実際に起こりうるコンプライアンス違反事例をもとに、問題点や取るべき行動について少人数でグループ討議を行うなど、自らの問題として考えさせる研修を実施しています。

さらに、毎年1月を「コンプライアンス推進月間」と位置づけており、2015年度は、電力小売全面自由化による環境変化に備え、新たに発生する恐れのある法的リスクへの注意喚起を目的として、独占禁止法に関する講演会などの取組みを行っています。



◀◀コンプライアンス研修の様子



社内イントラネットで、コンプライアンス 情報を共有しています

社内イントラネット「コンプラネット」に、当社のコンプライアンスに関する情報を掲載するとともに、法令改正や裁判に関するニュース、法律用語の解説や教育素材等のコンテンツを定期的に配信しています。

2015年度からは、「コンプラネット」を通じて、コンプライアンスの取組みの好事例を共有し、各職場での活用を推進しています。



コンプラネット画面



コンプライアンス意識を高めるため、
対話を中心とした研修に
取り組んでいます。

当たり前のことを、当たり前にする。すべきでないことは、しない。それによって、社会的要請に
応えることが、コンプライアンスの基本だと思います。

しかし、当たり前だと思っていることも、時と共に変化します。私たち一人ひとりが、「これで大丈夫
か?」「社会の常識とずれていないか?」と問い続けることが大切だと思います。

長崎支社エリアにおいても、グループ討議などの対話を中心としたコンプライアンス研修を
行っています。対話を通じて多様な考えにふれ、新たな気づきを得たり、自分の考えを整理したりして、
コンプライアンス意識を高めることが目的です。

私は研修の講師を務めています。受講者を指導するのではなく、一緒に考える姿勢で取り組んで
います。



たけした つとむ
長崎支社 コンプライアンス支社所管エリア担当 竹下 勉